

# News Release

## 地域経済活性化支援機構

2015年3月2日

### 大和信用金庫との「やまと観光活性化ファンド」の設立について

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「機構」という。)は、大和信用金庫との間において、奈良県桜井市を中心とする地域を対象に、観光産業振興に資する中堅・中小企業等の事業者への支援を目的とする「やまと観光活性化投資事業有限責任組合(やまと観光活性化ファンド)」を、REVIC キャピタル株式会社および株式会社 AGS コンサルティングを無限責任組合員として、本年3月1日に設立しましたのでお知らせいたします。

観光産業は非常に裾野が広く、経済波及効果や雇用創出効果の高い総合産業であることから、人口減少や少子高齢化が進展する状況の中、地域活性化においてもその重要性が高まっております。昨年は訪日外国人旅行者数が初めて1300万人を突破し、2020年には2000万人への到達が政府目標に掲げられる等、更なる観光経済・市場規模の成長が見込まれる中で、地域においては域外からの新たな観光客増加による消費効果も有望視されています。

桜井市には、国宝・重要文化財等の伝統的な指定文化財が多数存在し、邪馬台国の遺構との説もある「纏向(まきむく)遺跡」、仏教伝来の地である「金屋の河川敷」や日本最古の交易市场とされる「海柘榴市(つばいち)」等の歴史遺産や三輪素麺に代表される食文化等、豊富な観光資源・魅力的な風土が根差しています。また、昨年12月には奈良県と桜井市が、地域の持続的発展・活性化を目指す「まちづくりに関する包括協定」を締結する中で、大神(おおみわ)神社参道周辺、長谷寺門前町周辺地区等において、観光振興を視野に入れた歴史的・文化的価値を活かした参道・沿道整備を進めており、同市においても観光活性化の機運が高まっています。

当機構は、昨年10月に大和信用金庫と締結した「『奈良県桜井市における観光による地域活性化』に関する連携協定」に基づき、同金庫とともに本ファンドを通じて、桜井市を中心とする観光活性化の取り組みを支援するため、事業者の成長に必要なリスクマネーを提供いたします。合わせて、地域の観光活性化に資する事業等に対し、人材・経営面においても必要な支援・助言等を行うことで、「観光まちづくり」のモデルケースを構築したいと考えております。今後の取り組みといたしましては、同市三輪地区において、日本最古の神社と称される大神神社の参道・沿道整備計画等のまちづくりが進められていることから、当該地区の事業者と連携した着地型・滞在型観光の仕組みづくりを当初の想定としているところです。

なお、本ファンドは当機構にとって、地域の信用金庫と共同で、観光を軸とした地域活性化を目指して両者が主体的に取り組む全国初のファンドとなります。

本ファンドの概要は以下のとおりです。

名称	やまと観光活性化投資事業有限責任組合
設立時ファンド金額	150 百万円
設立日	平成 27 年3月1日
設立時組合員構成	大和信用金庫 (株)地域経済活性化支援機構 (株)AGS コンサルティング REVIC キャピタル(株)
存続期間	約7年間
業務運営者	REVIC キャピタル(株)、(株)AGS コンサルティング

以 上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化オフィス: TEL 03-6266-0380